

DBマスダール・クリーンテック・ファンドへの出資について
～気候変動緩和対策関連ベンチャー企業を支援～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、このたび、気候変動緩和対策関連事業を主な投資対象とし、ドイツ銀行グループ及びマスダールグループが共同マネージャーとして運営するDBマスダール・クリーンテック・ファンド(DB Masdar Clean Tech Fund,L.P.)への出資を決定しましたので、お知らせいたします。

このファンドは、太陽光発電・燃料電池・蓄電池などのクリーンエネルギー、水、廃棄物処理、エネルギー効率の改善等に投資を行うプライベート・エクイティ・ファンドとして、国内外の金融機関や事業会社からの出資により、265百万米ドルにて運営を開始します。

今回、当社は、国際協力銀行(JBIC)、ジャパン石油開発(JODCO;国際石油開発帝石100%子会社)と日本コンソーシアムを形成し、共同出資いたします。当社の出資額は、25百万米ドルを予定しております。

当社は、「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」のグループ理念のもと、環境に配慮した技術、商品開発を積極的に行っていくとともに、当ファンドへの参加を通じて、気候変動緩和対策に貢献することを目指してまいります。

注)マスダール(Abu Dhabi Future Energy Company)

アラブ首長国連邦におけるアブダビ首長国政府のソブリンウェルスファンドであるムバダラ開発の100%子会社であり、再生可能、石油代替エネルギーの研究開発に注力することを掲げた「マスダール・イニシアティブ」を遂行する政府系機関です。

以上